

<b>北海道</b>	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター
	部署名	開発推進部 ものづくりデザイングループ
	電話連絡先	011-747-2377

<b>事業名</b>	<b>デザイン関連技術支援・デザイン人材育成事業</b>
------------	------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

**1. 技術指導(無料)**

中小企業が取り組む新製品企画やコンセプト開発、各種デザインリサーチ、モックアップ～プロトタイプ開発、デザイン評価、知財、ブランディング、デザイン業とのマッチング、など様々なデザイン開発関連の相談に対してアドバイスや支援を行います(図1～3)。

**2. 派遣指導・短期実用化研究開発(有料)**

当場の研究職員を依頼企業に中長期間派遣(6日以上)し、製品開発やデザイン活用、ブランディングなどに関する技術的課題の解決に企業と協働して集中的に取り組みます。

**3. 設備使用(有料)**

非接触3次元測定機、5軸NC加工システム、光造形システム、3Dプリンター、UVプリンター、真空成形機などのデザイン試作設備を道内企業に開放しています。

**4. 研修・セミナー(無料)**

昨今ではデザイン開発プロセスに活用できる各種デジタルツールやアプリケーションをテーマに、実践的な研修・セミナーを実施しています。

【研修・セミナー例】FUSION360 セミナー、AR/VR活用オンラインセミナー & オンライン情報交換会、製造業のための3DCG入門オンライン講座、など



図1「ポアホールカメラ」デザイン開発



図2「手洗検査機でみえる」デザイン開発



図3「sinkop」アイヌ工芸品を活用した製品開発

令和4年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	-	-

北海道	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター	
	部署名	開発推進部 ものづくりデザイングループ	
	電話連絡先	011-747-2377	
事業名	デザイン関連研究開発事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>道内企業が新製品開発やデザイン活用をより効果的・効率的に進められるように、デザイン方法論やこれを支援するツールの開発、これらを活用した実践的なケーススタディ研究に取り組んでいます。</p> <p>&lt;主な研究テーマ&gt;</p> <p><b>1. 食の戦略研究・第III期(戦略研究 R2~R6)</b> 北海道立総合研究機構内の複数機関が連携して取り組む、「北海道の食」をテーマとした分野横断型研究において、農作業を支援する器具のデザイン開発や、寒冷地独自の栽培技術で展開する北海道の新野菜についてコミュニケーションデザインを担当(図1)。</p> <p><b>2. ユーザー中心設計のための試作活用技術に関する研究(経常研究 R2~3)</b> 道内製造業の製品開発における試作活用の状況調査や製品開発ケーススタディを通じて、開発初期段階で試作を使ってユーザー視点から開発製品を検証する必要性・有効性の解説と、そのための具体的な試作例の紹介を掲載した製品試作ガイド(ウェブサイト)を作成(図2)。</p> <p><b>3. 生体情報に基づく好意推定手法の開発(経常研究 R3~4)</b> 顧客から好意的に見られる視覚媒体(ウェブサイトや商品パッケージなど)の開発を効果的に支援するため、脳波などの生体情報を活用した好意を定量的に評価する好意推定手法を考案。</p> <p><b>4. 食品の3DCG制作の効率化に関する研究(経常研究 R4~5)</b> CG制作業、広告業等における食品3DCGの活用を促進するため、独自プログラム等により、代表的な数種の菓子の3DCG動画を従来手法の60%程度の工数で制作することが可能な手法を開発。</p> <p><b>5. 道内における非接触操作の未来(職員研究奨励事業 R4)</b> 産業機器や公共機器に組み込まれている操作画面を対象として、快適な非接触操作に求められる操作性の要求仕様を明らかにし、空中浮遊表示UIプロトタイプの制作を通じてその有用性を検証。</p>			
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		—	—



図1 北海道冬野菜「ゆきあまケール」



図2 製品試作ガイド「デザイン試作室」

<b>北海道</b>	機関名	地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 ものづくり支援センター	
	部署名	開発推進部 ものづくりデザイングループ	
	電話連絡先	011-747-2377	
事業名	デザイン開発力向上講座「つくりながら考えるデザイン」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザイン未活用のものづくり企業を対象に、自社製品開発にデザインの考え方や手法を取り入れるための実践講座を令和3年より開始しました。ノンデザイナーでも取り組める、簡易試作を積極的に取り入れたプログラムとなっています。</p> <p>【令和3年度 デザイン開発力向上講座】          期間:7月~2月 集合開催4回 個別ワーク20回程度          講師:高橋尚基デザイン事務所 代表 高橋尚基 氏          参加者:道内中小企業 4社7名          参加費:無料          【講座の内容】</p> <p>①企業訪問:講師が参加企業を訪問し、保有技術や製品開発に関するヒアリングと製造現場の視察を行い、今後の製品開発アドバイスの参考とします。</p> <p>②製品開発:参加企業が選定した開発テーマについて、アイデア探索と簡易試作による気づきを繰り返しながら、魅力ある製品企画案の検討を進めます。外部アドバイザーの助言や参加企業間の相互評価も活用します。</p> <p>③成果発表:製品外観モックアップやバーチャルパンフレットの形で製品企画案を具現化し、最終回で発表・講評を行います。講座修了後も製品化に向けたフォローアップを行います。</p>			
			
		簡易試作を取り入れたワークショップ	製品企画案の発表と講評
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年	-

<b>北海道</b>	機関名	札幌市	
	部署名	経済観光局産業振興部地域産業振興課	
	電話連絡先	011-211-2392	
事業名	プロダクトデザイナー派遣事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>さっぽろ連携中枢都市圏域内(※)の中小製造業を対象に、デザインを活用した製品開発の成功事例やデザイン戦略の有効性等について紹介し、意識啓発を図るセミナーを開催するとともに、デザイン、マーケティング、セールス、ブランディング等の専門家及びそれらを統括する製品開発プロデューサーを企業へ派遣し、製品開発から販売戦略までの一貫的な支援を行う事業を実施</p> <p>※札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町</p> <p>① SAPPORO ものづくり×デザインセミナー【令和3年4月21日(水)、参加人数57名】 基調講演:「ウィズコロナに挑む!ものづくり戦略とは」(講師:株式会社コボ 代表取締役社長 山村真一氏) ※その他、プロダクトデザイナー派遣事業の詳細を紹介する講座、過去に支援を受けた企業によるトークセッションを実施</p> <p>② 専門家チームによる製品開発支援【支援実績(令和3年度):2社】 新製品開発や新事業展開を目指す意欲のある企業に対して、豊富な企業支援実績を持つ「製品開発プロデューサー」及びマーケティングやブランディング等、各分野の専門家「製品開発アドバイザー」により構成する支援チームを派遣し、製品開発を支援</p> <p>③ 展示会出展・成果事例紹介ページの作成 展示会出展や成果事例紹介ページ(WEB)の作成を実施し、本事業により開発された製品や支援の経過を広く普及啓発</p> <p>■実施団体 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 &lt;参考 URL &gt; <a href="http://www.sec.or.jp/other/782.html">http://www.sec.or.jp/other/782.html</a></p>			
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成25年度	5,400千円



<b>北海道</b>	機関名	旭川市	
	部署名	経済部産業振興課	
	電話連絡先	0166-65-7047	
事業名	デザインギャラリー管理負担金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>産業デザインを主体とした、企画展示及び発表の場として利用されているデザインギャラリーの管理運営を行い、地場産業におけるデザイン振興の動機付けやデザインマインドの高揚を図る。</p> <p>■運営主体：旭川デザイン協議会(会長 伊藤 友一)          ■所在地：旭川市宮下通11丁目 上川倉庫「蔵田夢」内          ■入館者数(令和3年度) 4,909人          ■令和3年度実施事業：旭川デザイン協議会展 2022,旭川でみつけた”デザイン絵日記”ほか</p>			
			
<p>旭川デザイン協議会展 2022 (令和4年3月15日～27日)</p> <p>旭川でみつけた”デザイン絵日記” (令和4年3月15日～27日)</p>			
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成9年度	9,162千円

<b>北海道</b>	機関名	旭川市	
	部署名	経済部産業振興課	
	電話連絡先	0166-65-7047	
事業名	デザイン振興基金積立金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザインに関する事業に必要な経費の財源に充てるため、「旭川デザイン振興基金条例」を制定し、基金の趣旨に賛同する企業や団体、個人からいただいた寄付金を積み立てる。</p> <p>令和4年3月現在 基金額 14,254,305円</p>			
令和4年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	3,431千円

北海道	機関名	旭川市
	部署名	経済部産業振興課
	電話連絡先	0166-65-7047

事業名	あさひかわ創造都市推進協議会負担金
-----	-------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

あさひかわ創造都市推進協議会は、デザイン・機械金属・食品・家具・建設・建築などの団体及び金融機関などを中心に、豊かで潤いのある暮らしの創造、地域産業の活力創出及び創造力豊かな人材育成を目的に平成31年3月に設立した団体であり、令和3年度は、市民、市内企業へのデザイン思考・デザイン経営の普及を目的としたセミナー等の開催費用及びデザイン都市旭川をPRするためのポスター制作費・ホームページ運営管理費等に関する負担金を支出した。

- 負担金交付先:あさひかわ創造都市推進協議会(会長:渡辺 直行)
- 令和3年度実施事業:デザイン×経営セミナー(計5回実施)、旭川デザインウィーク2021ほか



【デザイン×経営セミナー】

- ・開催日:令和4年2月24日(木)18:00~20:00
- ・場所:大雪クリスタルホール音楽堂(オンライン同時開催)
- ・内容:ビジネス・テクノロジー・クリエイティビティの統合 デザインを経営に生かし、ポストコロナを創造する
- ・講師:Takram Japan 株式会社 代表取締役 田川 欣哉 氏
- ・参加者数:157名

令和4年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	令和元年度	23,619千円

北海道	機関名	旭川市
	部署名	経済部工芸センター
	電話連絡先	0166-66-1770

事業名	国際家具デザインフェア旭川2021開催事業
-----	-----------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

「国際家具デザインフェア旭川(IFDA)」は、旭川市における主要な地域産業のひとつである家具製造業のデザインの高度化と高付加価値化及び家具産地としてのイメージの向上、デザインによる国際交流の促進及び市民の家具デザインへの理解を深めることを目的として、平成2年度以降3年毎に開催されているデザインの国際イベントである。木製家具のデザインコンペティションを中軸に、展示会、デザインセミナーなどを開催している。

今回のデザインコンペティションでは、37カ国・地域から588点の応募があり、令和元年12月の予備審査、令和3年3月の本審査を経て、最高賞であるゴールドリーフ賞をはじめとする入賞作品4点と入選作品20点が選定された。

令和3年は入賞入選作品展が6月から9月までロングラン開催されたほか、オンラインを活用した方式で、審査委員長である建築家の藤本壮介氏による基調講演や、表彰式等が行われた。

<国際家具デザインコンペティション旭川2021 入賞入選作品展>

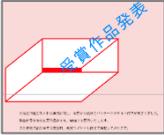
会期 令和3年6月16日～9月26日  
会場 旭川デザインセンター

<参考URL>

[www.ifda.jp](http://www.ifda.jp)



令和4年度実施予定	開始年度	予算額
次回開催予定：国際家具デザインフェア旭川2024	平成2年度	-

<b>北海道</b>	機関名	経済産業省北海道経済産業局									
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室									
	電話連絡先	011-709-2311 (内線2586)									
事業名	デザイン創造・活用支援事業										
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)											
<p>&lt;概要、目的&gt;          北海道の商品の魅力を広く伝えるツールとして、“デザイン”による商品の差別化・高付加価値化に対する意識を向上させるとともに、創造されたデザイン等を知的財産として認識し、権利として保護することの重要性について周知することを目的として、北海道内の食品や日用品を対象に優れたデザインのパッケージを広く募集し、展示する「パッケージデザイン展」をWEBで開催。</p> <p>&lt;令和3年度 事業内容&gt;          (1) パッケージデザインの対象商材の募集          北海道内の企業から、食品や日用品等を対象に5商材を募集</p> <p>(2) パッケージデザインの募集          対象5商材に対し、全国から広くパッケージデザインを募集</p> <p>(3) 審査会          デザインの専門家3名と商材提供企業により審査</p> <p>(4) パッケージデザインコンテスト北海道2021WEB 展示会の開催          【開催期間】 令和4年2月18日～          【場所】特設 WEB サイト内          受賞作品・受賞コメント・応募作品を掲載。3月2日よりグランプリ・準グランプリ・優秀賞・審査委員賞の審査評を掲載。Facebookでも周知を実施。</p> <p>(5) 商品化に向けたフォローアップ          商品提供企業と受賞デザイナーの交流の場を設け、商品化に向けたフォローを実施</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【スケジュール】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">令和3年10月18日～11月11日</td> <td>パッケージデザイン対象商材の公募</td> </tr> <tr> <td>令和3年12月6日～1月14日</td> <td>パッケージデザインの募集</td> </tr> <tr> <td>令和4年1月下旬～2月上旬</td> <td>デザイン審査会</td> </tr> <tr> <td>令和4年2月18日～</td> <td>パッケージデザインコンテスト北海道2021WEB 展示会</td> </tr> </table> </div>				令和3年10月18日～11月11日	パッケージデザイン対象商材の公募	令和3年12月6日～1月14日	パッケージデザインの募集	令和4年1月下旬～2月上旬	デザイン審査会	令和4年2月18日～	パッケージデザインコンテスト北海道2021WEB 展示会
令和3年10月18日～11月11日	パッケージデザイン対象商材の公募										
令和3年12月6日～1月14日	パッケージデザインの募集										
令和4年1月下旬～2月上旬	デザイン審査会										
令和4年2月18日～	パッケージデザインコンテスト北海道2021WEB 展示会										
		<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <p>○令和3年度グランプリ作品</p> <div style="text-align: center;">  <p>商品名：ReTAKO</p> </div> <p>○令和3年度特設WEBサイト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> </div>									
<p>(参考 URL) パッケージデザインコンテスト北海道2021特設サイト <a href="https://www.hkd.meti.go.jp/hokip/package2021/index.html">https://www.hkd.meti.go.jp/hokip/package2021/index.html</a></p>											
令和4年度実施予定		開始年度	予算額								
令和3年度で事業終了		平成27年度	-								

<b>北海道</b>	機関名	経済産業省北海道経済産業局
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室
	電話連絡先	011-709-2311 (内線2586)

<b>事業名</b>	<b>デザイン経営導入支援事業</b>
------------	---------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

**<概要、目的>**

北海道内の企業においてデザイン経営の普及・促進を図ることを目的として、デザイン経営の導入に資するセミナーを実施するとともに、企業のニーズに応じたデザイナーや弁理士等の専門家で構成された支援チームによるハンズオン支援を実施。

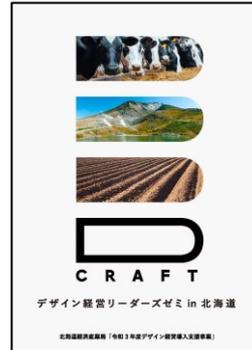
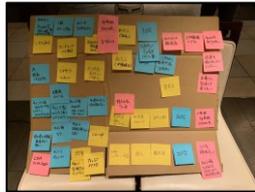
**<令和3年度 事業内容>**

**(1) 導入支援プログラムの実施**

中小企業と共創してデザイン経営の導入を実践してきたデザイナーや、デザイン経営を実践する経営者を講師に迎え、デザイン経営を実践する上で必要な知識、デザイン・デザイナーの役割や知的財産の保護・活用の重要性、期待できる効果等、自社のゴールイメージを描くことを目指した講義を実施。

**(2) ハンズオン支援の実施**

デザイナーや知財専門家をパートナーに迎え、自社のビジョンやビジネスモデルの更新、社内組織のデザインに至るまで、参加企業の課題に応じた施策検討と、プロトタイプ制作を実施。



↑ 公募チラシ

← 成果事例集

**(3) 成果報告会の開催**

ハンズオン支援終了後、支援企業より本事業を通じて得られた成果について発表する成果報告会をオンラインで開催。

デザイナー及び弁理士等の知財専門家よりデザイン経営の効果や実践方法をテーマとした講演を行い、各支援企業及び支援を行ったデザイナーより本事業を通じて得られた成果を発表。

また講演者によるパネルディスカッションも実施。

令和4年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	令和3年度	-